



平成 30 年  
第2回定例会号  
第112号

8月1日発行  
年4回発行

目 次

第2回定例会・・・・・・・・・・P2～P3  
臨時会・・・・・・・・・・P4  
一般質問・・・・・・・・・・P5～P7  
議会の動き・・・・・・・・・・P8

消防団訓練大会（第2サッカー場）

お茶の間の議会情報誌

議会通信

Shinshinotsu Village Assembly Information

しんしのつ

平成  
30年

# 第2回定例会

## 定例会の主な内容

# 平成30年度一般会計補正予算など 12件の議案を審議

平成30年第2回村議会定例会が、6月11日から15日までの5日間の会期をもって招集され、平成30年度補正予算などを審議し、村長提出の議案は全て原案のとおり可決・同意されました。会期中に行政常任委員会に付託された陳情書1件を審議し、最終日にその報告を受けました。また、一般質問を4人の議員が行い、閉会いたしました。主な内容は、次のとおりです。

## 予 算

### 〔平成30年度補正予算〕

#### ◎一般会計

歳出補正の主な内容

〈総務費〉

・お試し暮らし住宅改修工事 300万円

・光通信設備改修工事 245万円

〈商工費〉

・石狩管内「道の駅」グルメリー事業負担金 20万円

〈教育費〉

・給食調理等業務委託料 734万円

〈今回の補正額〉 1687万円

〈補正後の予算総額〉 39億2367万円

#### ◎介護保険特別会計

歳出補正の内容

・備品購入費 19万円

〈今回の補正額〉 19万円

〈補正後の予算総額〉 3億8219万円

## 一 般 議 案

### ◎新篠津村第4辺地総合整備計画の一部変更について

第4地区社会教育会館建設工事等を追加するため、計画を変更するものである。

◎新篠津村過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について

精米施設建設事業などの事業を計画に登載し、計画を変更するものである。

### ◎工事請負契約の締結について

村営プール建築主体工事

工事名

平成31年3月20日まで

契約金額 2億9916万円

契約相手方 岩倉建設株式会社

工事概要 村営プール機械設備工事

本体工事に付随する暖房及び給排水設備等

契約金額 8035万円

契約相手方 日管・笠原特定建設工事共同企業体

工事概要 鉄骨造平屋建て

面積 712.735㎡

契約金額 2億9916万円

契約相手方 岩倉建設株式会社

工事概要

橋梁上部工断面修復工及び表面含浸工等

契約金額

6199万円

契約相手方

株式会社成田工業

工期

平成30年11月30日まで

人事

◎新篠津村監査委員の選任について

任期満了に伴う監査委員に馬淵誠二氏を選任したいとの提案があり、これに同意しました。

任期は平成34年6月18日までです。



馬淵 誠二 氏

◎新篠津村固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に3氏を選任したいとの提案があり、これに同意しました。

任期は平成33年8月12日までです。



新居 剛 氏



小林 文明 氏



松澤 雅英 氏

意見書・陳情書

意見書の提出を求める陳情書が1件あり、行政常任委員会に付託の上審議した結果、趣旨採択となりました。

件名	提出者	結果
教職員の超勤・多忙化解消、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた陳情書	連合北海道石狩地域協議会 当別地区新篠津支部連合会 会長 光野 明彦 北海道教職員組合石狩支部 新篠津支会 会長 光野 明彦	趣旨採択

第1回臨時会  
(4月16日)

専決処分

◎平成29年度新篠津村一般会計補正予算(第8号)

歳出補正の主な内容

〈総務費〉

・財政調整基金積立金

5000万円

〈土木費〉

・環境保全型農業直接支払交付金

△724万円

〈今回の補正額〉

3306万円

〈補正後の予算総額〉

33億2069万円

予算

【平成30年度補正予算】

◎一般会計

歳出補正の内容

〈総務費〉

・山車会館東側シャッター

補修工事 80万円

・コミュニティ助成事業補助金

200万円

〈今回の補正額〉

280万円

〈補正後の予算総額〉

39億680万円



中央自治区がコミュニティ助成事業で発電機や災害用マンホールトイレなどの避難所用防災用品を購入

一般議案

◎工事請負契約の締結について

工事名

南団地3・4号棟建築主

体工事

工事概要

規模 2棟8戸

延床面積 526・65㎡

契約金額

1億8144万円

契約相手方

辻野建設工業株式会社

工期

平成30年12月14日まで

◎物品購入契約の締結について

物品名

除雪ドーザ

規格及び数量

13t級車輪式マルチプラウ 1台

契約金額

1566万円

契約相手方

コマツ建機販売株式会社

北海道カンパニー札幌支店

納期

平成31年1月31日まで

◎物品購入契約の締結について

物品名

村営バス

規格及び数量

小型29人乗りマイクロバス 1台

契約金額

775万円

契約相手方

北海道日野自動車株式会社

社岩見沢支店

納期

平成30年12月25日まで

## 第2回臨時会

(5月30日)

歳出補正の主な内容

〈教育費〉

・芸術鑑賞事業実行委員会

交付金

200万円

・機材借上料

50万円

〈今回の補正額〉

262万円

〈補正後の予算総額〉

39億2629万円

## 専決処分

◎新篠津村税条例等の一部を改正する条例

を改正する条例

地方税法の一部改正等に

伴い、村税条例の一部を改正するものです。

## 条例

◎新篠津村国民健康保険税

条例の一部を改正する条例

について

国民健康保険税の適正賦

課と基盤安定を図るため、

本条例を改正するものです。

## 第3回臨時会

(7月23日)

## 予算

【平成30年度補正予算】

◎一般会計

## 顕彰

◎村政功労者の推薦決定

永年にわたり農業委員会

委員として地域農業の振興

発展と活性化に尽力され、

また、監査委員としても公

正な村政運営に多大な貢献

をされた馬淵博美氏の推薦

があり、これを推薦決定し

ました。

## 条例

◎新篠津村税条例等の一部

を改正する条例

地方税法の一部改正等に

伴い、村税条例の一部を改

正するものです。

## 議会日誌

(5月)

7日 石狩管内町村行政懇談会 (札幌市)

8日 議会事務局長研修会 (札幌市)

15日 商工会通常総会 (札幌市)

26日 幸生園まつり

28日 村交通安全推進委員会

30日 議会運営委員会

議員協議会

第2回村議会臨時会

(6月)

2日 小学校運動会

(7月)

22日 東出輝一氏 旭日小綬章受章祝賀会

27日 石狩町村議会議員研修会

29日 消防団訓練大会

3日 北海道町村議会議員研修会 (札幌市)

7日 ふれあい祭り

9日 平和祈念戦没者慰霊祭

20日 議会広報特別委員会

23日 商工会夏まつり

25日 議会運営委員会

議員協議会

第3回村議会臨時会

第44回老人福祉スパー大会

8日 議会運営委員会

議員協議会

石狩北部地区消防事務

組合議会臨時会 (石狩市)



# 一般質問 ～4人の議員から7項目を問う～

## 基線道路、国保税



## ハザードマップ、女性の活躍推進など



### 一般質問

植島 豊 議員

### Q

基線道路42線から中学校までの雑木の整備を

### A

引き続き北海道へ要望を行っていきたい

○植島議員 質問

害獣の温床となる雑木、雑草の処理については、昨年約100mされたが、何年かかっても良いと言う事ではない。

万が一、観光客へエキノコックスなどの感染症やア

ライグマによる噛みつき事故があると、村のイメージダウンになる。また、地域の方から食害などの農作物への被害の声もある。引き続き北海道に強く要請をして頂くか、村で実施してから道に請求するとういう方法も考えられるが、村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

本村の観光拠点である、しのつ公園などへのメインアプローチとなっているこの道路は、道が行う維持管理だけでは整備が不足しているため、定期的に歩道部分の除草作業を村が行っている。しかし、防雪林の現状は下草及び下枝払いなどの管理がされておらず、手つかずの状態となっている。観光拠点の周辺環境として適正に管理し、害虫の発生、害獣の棲みつきと繁殖を止めるためには、継続的な整備が必要であると考えていることから、今後北海道に対し引き続き要望していく。

### 一般質問

菊地清美 議員

### Q

国保税の納付回数を増やす考えは

### A

現段階では大変難しいと考えている

○菊地議員 質問

4月から国保の都道府県化が始まり、保険税の引き上げにつながる。

そのため、被保険者の負担額が増加していくが、国保税納付1回あたりの支払い負担額の軽減が求められる。

現行は年4回納付のため納付額が大きくなる。支払いやすいように、石狩管内の市、町では10回納付となっている。

そこで、現条例の年4回に、新たに年10回を加えて、どちらかを選ぶという選択制にできないかと思うが、村長の考えを伺いたい。

○石塚村長 答弁

平成30年度から、国保の都道府県化により、1月7日までに全納付額の9割を納めることになったため、年内に9割以上の国保税を確保しなければならぬ。そのため今は、逆に納回数減らす自治体が出てきている。

その様なことから、現段階で納回数増やすことや、その選択制の導入については、大変難しいと考えている。

ただ、分納が必要な方は、事前にご相談をしていただきながら、既に個別に対応をしているので、ご理解を願いたい。

# 一般質問

南部隆志 議員

**Q 職員の住居手当の現状は**

**A 「職員の給与に関する条例」の規定に基づき適切に支給している**

○南部議員 質問

全国的に公務員の住居手当の不正支給が問題となっている。主に家族・親族間での賃貸に関してのチェック機能の不備が背景にあるようだ。

そこで、本村における住

居手当に関する規定とそれに伴う実態について、村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

本村職員の住居手当については、「職員の給与に関する条例」の規定に基づき、自ら居住するために借り受けて居住している場合と、自己所有に居住している場合に対して住居手当を支給している。

このうち、自ら居住するために借り受けて居住している者においては、賃貸借契約書等の写しを徴収し、その契約書の家賃に基づき住居手当額を決定して支給している。

参考までに先月末での支給状況は、職員18人、臨時職員2人に対し、支給総額は月額38万円となっている。

なお、先般札幌市等で問題となっている親族関係の賃貸者については、本村の場合、一人もいない状況となっている。

**Q ハザードマップの更新時期と内容について**

**A 本年10月末をめぐり最大規模の降雨を想定し作成したい**

○南部議員 質問

昨年9月の定例会において、ハザードマップの更新を検討しているとの答弁を頂いたが、いつ頃どの様な形を想定しているのか。

今回は石狩川の氾濫を想定している物と思うが、本村の近くに幾つかの活断層が確認されている。

そのため、地震についてと、昨年の12月に発生した暴風雪と同等規模の風雪害を想定し、検討する必要があると考えるが、村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

ハザードマップの更新については、ハザードマップや防災の知識等を掲載した防災ガイドブックを10月末の完成に向けて、現在、担当者と業者で適宜打合せを行っている。

内容については、平成29年3月に国土交通省により示された、千年に一度の確率と言われる最大規模の降雨を想定し、石狩川氾濫によるハザードマップを作成する。また、篠津川についても同様にハザードマップを作成する予定である。

地震については、平成28年度に北海道において、報告された、石狩振興局管内で最も被害が大きいと想定される、月寒背斜の断層による地震を想定した地震ハザードマップも作成する。

暴風雪については、防災の知識の中に暴風雪に対する知識・備えも1ページ程度盛り込み、停電に対する知識・備えについても掲載する予定である。

# 一般質問

大塚裕樹 議員

**Q 女性の活躍推進に向けた取り組みが必要では**

**A 総合計画の審議会委員の6人以上を女性としたい**

○大塚議員 質問

国は、今年4月の通常国会において議員立法で、「政治分野の男女共同参画推進法案」が採決された。

これは、政府が2020年までに指導的地位に占める女性の割合を、30%にすることを目標とし、国会議員・地方議員の選挙で男女

の候補者数が、できる限り均等となることを目指すものである。

この法案を機に、実質的な男女平等の実現に向け、前へ進むことになり、政治分野における女性の参画を拡大することは、今後、様々な分野のリーダーとして、女性地位向上に繋がって行くことになる。

村としても目標を設定し、女性の活躍を表彰するなど、具体的に取り組む考えがあるのか、村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

本村では、この基本法の理念に基づき、平成28年3月に「新篠津村男女共同参画計画」を策定し、男女一人ひとりが自らの意思で様々な社会活動に参画できるように推進している。

村では、男女共同参画の推進を図るべく取り組みとして、女性職員の管理職への配属や農業委員、教育委員などの行政委員にも多くの女性委員を任命してきた。今年度策定する総合計画

の審議会委員に、各種団体等で活躍している女性を最低でも6名を選し、女性の立場でのご意見を伺い、計画の中で女性が活躍できる事業や組織などを、盛り込んでいきたいと考えているので、ご理解願いたい。

**Q 村内事業所就労者への定住支援をする考えは**

**A 各事業所への調査を検討したい**

○大塚議員 質問

村は人口対策において様々な施策を行なっている。移住して頂くことは大変ありがたいことではあるが、現実には中々難しいことだ。その中で村内の事業所で働いている方を対象に、民間のパートを活用して、

新規定住者は、家賃半額補助もしくは無料で村民になつて頂くような事業を行つてみてはと思う。

そこで、村内事業所で働いている人たちの調査研究を早急に行つて、即効性のある人口対策の取り組みを行なうような考えがあるか、村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

村外から通われている方には、村に定住していただき、そのことが将来の人口増にも繋がり、村の活性化にもなる。

村としては、民間事業所が従業員用の社宅を建ててもらうことが理想ではあるが、経費面などから現状難しいと考えられる。

まずは、村内事業所に限った方が村外から通われているのか、また、家賃が安ければ村に住みたいという方がどれだけのかなど、総合的な観点から、各事業所への調査を検討していきたいと考えているので、ご理解願いたい。

**Q 農建連携に向けた取り組みについて**

**A 関係団体等と十分協議を行っていく**

○大塚議員 質問

近年、村の農業者の高齢化や規模拡大に伴い、水稲の播種作業や田植え作業時の一時的な労働者不足になっている。

その中で、全国各地で様々な形で取り組みが行われ、北海道各地でも同様である。国も昨年、地域の建設業と農林水産業の連携による地方創生のこれからの可能性について、議論を始めた。

建設土木業関係の方々、6月まで公共事業が少なく、その間の働き手として、ますます農家の高齢化や一人

で営農されている方など、後継者不足の深刻な村として、良い可能性があると思われる。

村は大都市札幌から非常に近く好立地条件にある。今後、農建連携など新たな施策の可能性も含めて、村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

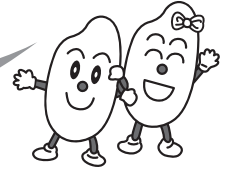
労働力不足解消の「農建連携」ということであるが、この問題を解決するためには、まずはJAの理解とその方策が最も重要ではないかと思う。加えて、JAと村建設協会との連携を行うことも必要ではないかと考える。

また、現在、江別市のシルバー人材センターと協議を進めており、今後村民も登録が可能となると、その活用なども考えられる。

いずれにしても、労働力不足は今後の農業従事に係る大きな問題でもあるため、関係団体等とも十分、協議を行いたいと考えているので、ご理解願いたい。



# 議会の動き



議会通信  
しんしのつ

(平成30年8月1日発行)



## 石狩町村議会議員研修会

6月27日、保健センターで石狩町村議会議員研修会が開催され、本村と当別町の議員及び事務局職員が27人参加しました。

研修会では、北海道石狩振興局の渡辺稔之産業振興部長を講師に招き、「農業を取り巻く多様な産業振興の取組について」をテーマに講演をして頂きました。



## 北海道町村議会議員研修会

7月3日、札幌コンベンションセンターで、北海道町村議会議員研修会が開催され、全道から町村議員が参加しました。

歴史家の加来耕三氏が「明治維新から150年、現在そして未来を考える」を、日本大学法学部の岩井奉信教授が「現代日本政治と政局のゆくえ」をテーマに講演が行われました。



**表紙のコメント**  
6月29日、消防団訓練大会が運動公園第2サッカー場で行われ、消防団員77人が参加しました。大会では、小隊訓練や小型ポンプ操法などの技術を競い合い、積み重ねてきた練習の成果を披露していました。

**編集後記**  
6月中はまだまだ寒く、稲、大豆、小豆に黄ばみが入り低温障害になりました。  
8月が暖かく晴れの日が多くなれば、8年連続の大豊作が期待されます。これから麦の収穫が始まります。コンバインの整備、納屋の掃除を終わらせ、けがをしないようがんばりましょう。

(高橋 記)

平成30年第3回定例会の  
お知らせ

9月4日(火)  
～9月14日(金)予定

どなたでも傍聴できます。  
皆様のお越しをお待ちしております。



発行／新篠津村議会 編集／議会広報特別委員会  
住所／北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地

☎(01226)  
57-2111